

校長室だより

共学共高

第
77
号

令和7年4月14日発行

発行責任者

白梅学園高等学校長

武内 彰

第62回新入生歓迎会

4月12日（土）第62回新入生歓迎会が、第1体育館で行われた。3月の弥生祭（3年生を送る会）に引き続き、実行委員長のKさん以下、委員や有志によって準備が進められてきた。Kさんに「弥生祭の経験があるから比較的余裕があったのでは？」と尋ねると、「いや、なかなか大変でした」との返答があった。みんな、これまで準備をありがとう。

吹奏楽部の生演奏の下、新入生が2・3年生に拍手で迎えられ、入場する。心持、緊張している表情も見られる。委員長の開会宣言の後、吹奏楽部の演奏が始まる。曲目は、「スーパーマリオブラザーズ」と「Paradise has no border」である。前者はゲームでおなじみだとは思いますが、それを演奏するとは少々驚かされた。用意のいい新入生は、ペンライトを持参していて、それを振りながら、あるいは手拍子をしながら演奏を楽しんでいるようだ。指揮を執るH先生のコスチュームもなかなか凝っている。パーカッションのYさんも着ぐるみで演奏している。オープニングにふさわしい素敵な演奏である。



ステージ発表の合間には、各部活動の紹介が行われる。国際文化部、写真部、放送部、美術部、調理部、手芸部、華道部、児童文化部、茶道部とそれぞれ特徴をアピールして新入生から拍手をもらっている。



次のステージは、書道部のパフォーマンスである。大きな作品を2つ仕上げる。いずれも新入生にふさわしいメッセージが込められている。「挑夢（いどむ）」と「青春」である。白梅学園での学校生活をわかっている先輩たちからの素敵なメッセージである。私が着任したときには、確か6名くらいの部員数であった書道部だが、いまでは大人数となった。感慨深いものがある。



続いて部活動紹介である。自然科学部、JRC（日本赤十字クラブ）、社会部、文芸部、マンガ研究部、バレーボール部、ソフトテニス部、硬式テニス部、バスケットボール部と続く。バレーボール部は人数の多い部であるが、なかなか新入生の気持ちをとらえるパフォーマンスをしていたのではないかな。いつも体育館での練習をしている姿を見ているが、元気いっぱい部員たちがそろっており、勢いを感じる。もちろん、他部もそれぞれの特長をうまく表現している。



ステージでは、合唱部の登場である。曲目は、「WA になって踊ろう」(V6)と「RPG」(SEKAINO OWARI)の2曲である。新入生にとっても親しみやすい選曲ではないだろうか。手拍子をもらいながら、奇麗な演奏を披露してくれた。合唱部にも継続して頑張ってもらいたいと思う。



続いて、ダンス部のステージである。いつも素敵なダンスを披露してくれて、在校生からの人気も高い。観客席からは絶えず、声援が届けられる。衣装も凝っていて、踊りとのマッチングもよく考えられている。先月には、宝仙学園ダンス部の卒部公演に友情出演している。大人数で部をまとめるのも大変だろう。今年度はK 副校長が主顧問となっている。ますます忙しくなることを校長としては心配しているところだ・・・



続く部活動紹介は、卓球部、ソフトボール部、陸上競技部である。卓球部とソフトボール部は比較的少人数での活動をしているようだ。是非とも、新入部員を獲得してほしいものである。陸上競技部も都及び全国で実績を上げている部である。次につながる選手に入部してほしいものである。



ステージには演劇部の登場である。弥生祭で登場したドリームキラーが、ネガティブなことばかり言って、希望にあふれた新入生の夢を打ち砕こうとする。それに対して、抵抗する魔法戦士アスター（魔法戦士によって後継者として任命される）とのやりとりが面白い。期待以上の出来栄ですますます演劇部のファンになってしまった。魔法戦士が引退して、アスターがそれを引き継いでいくのか、今後の展開も楽しみである。



続いて、箏曲部の演奏である。「人生のメリーゴーランド」と「渡月橋〜君、想ふ〜」である。いずれもアニメの主題歌のような。箏曲部のすごいところは、こうして生徒たちにとってなじみのある曲を演奏してしまうところだ。部員数も徐々に多くなっているようで、それだけに演奏をまとめる苦労があると思うが、立派に成し遂げてくれた。

部活動紹介は、ハンドボール部、バドミントン部、剣道部、サッカー同好会、生徒会執行部である。いうまでもなく、ハンドボール部は全国に名を轟かせている強豪チームである。先の全国高校選抜大会でも第3位に入賞している。新たな部員を得て、ますますレベルアップしていくことを期待したい。バドミントン部は私が主顧問を務めているので、生徒たちからのオーダーに従って、大きな声で返事をさせていただいた。校長が主顧問を務めている学校は全国でもそうはないだろう。入部すると私との関係は密になりますよ。剣道部とサッカー同好会にも新入部員が複数入ることを願っている。私も中学時代には剣道部に所属していた。剣道の面白さと大変さは知っているつもりだ。生徒会執行部もなかなかのものである。歌って踊れる生徒会執行部、今年も全校生徒のために活躍してくれることを期待している。



ステージには、バトン部の登場である。こちらも在校生たちから絶え間ない声援が送られる。躍動感のある、はつらつとした演技を見せてくれる。バトンの空中技は難易度が増しているものに挑戦しているように見えた。きっと多くの部員が入部するであろう。



締めは、軽音楽部の登場である。部内のオーディションを突破した5つのバンドが演奏を披露してくれた。私は音楽の素人であるが、どの楽器もいい演奏だが、ドラムとボーカルが特にしっかりしているのではないかと感じた。どのバンドにも手拍子や声援が送られ、大いに盛り上げてくれた。



閉会式では、委員長 K さんの閉会宣言がなされ、その後、新入生が在校生の拍手に送られて退場し、会は幕を下ろした。近くにいた新入生に感想を聞いたら、元気に「楽しかったです！」と返ってきた。

女子校の雰囲気、女子校の良さ、そして白梅学園の良さを体感してくれたら嬉しい。これからの白梅ライフが実り多きものとなりますように、新入生に寄り添いながら、支えていきたいものである。

(共学共高とは：本校のディプロマポリシー（育てたい生徒像）の一つで、「共に学び、共に高め合う」生徒の姿を表す)